

**施設カルテ**  
(1) 施設基本情報シート

平成29年度

1.台帳番号	9860	3.利用用途別分類	図書館・展示施設		
2.施設名	宮崎市生目の杜遊古館	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.所在地(町名・番地)	跡江4200-3	15.設置根拠法令			
6.バス停	生目の杜遊古館(210m)	16.設置条例	宮崎市生目の杜遊古館条例		
7.開設年月日	平成21年4月25日	17.市の計画	運営開始は定まっていないが改築計画を検討中		
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観	 		
9.指定管理期間					
10.用途地域	その他		19. 内部	 	
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	国史跡生目古墳群に隣接し、埋蔵文化財センター、及び体験学習施設、宿泊施設を併設している。埋蔵文化財(出土品を含む。以下同じ。)に対する市民の理解と関心を深め、及び創作活動等の体験学習を通じて青少年の心身の健全な育成を図る。				
13.主な利用者	埋蔵文化財センター・・・市民(市外可) 体験学習館(宿泊棟含む)・・・研修目的の団	20.避難所の指定(標高)	指定避難所	9.40 m	
14.利用者駐車可能台数	82台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	249,047.74 m <sup>2</sup>			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	54,681	112.6	48,551	-
	開館日数	307	101.3	303	-
	利用率	178	111.3	160	-
24. 建物情報	総延床面積	3,399.17 m <sup>2</sup>			
	取得価額計(開始時簿価計)	1306379千円 (一)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	2008年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m <sup>2</sup>			
	25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		768	104.1	738	-
使用料(減免後)②		142	94.7	150	-
その他③		626	106.5	588	-
《参考》 使用料減免額④		0	-	0	-
指定管理者の収入計⑤		0	-	0	-
指定管理料⑥		0	-	0	-
利用料金収入		0	-	0	-
自主事業収入		0	-	0	-
その他収入	0	-	0	-	
収入合計⑦	768	104.1	738	-	
26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	64,101	99.8	64,254	-
	施設のコスト	23,155	102.8	22,520	-
	事業のコスト	3,246	152.1	2,134	-
	人に係るコスト	37,700	95.2	39,600	-
	指定管理者の支出計⑨	0	-	0	-
	施設のコスト	0	-	0	-
	自主事業以外のコスト	0	-	0	-
	自主事業のコスト	0	-	0	-
人に係るコスト	0	-	0	-	
支出合計⑩	64,101	99.8	64,254	-	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	-	0	-	
28.工事請負費・修繕費	1,590	223.9	710	-	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	768	104.1	738	-	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	-	0	-	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	63,333	99.7	63,516	-
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	99	99.9	99	-
32.施設所管課	文化財課	33.施設主管課	文化財課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	9860	3.利用用途別分類	図書館・展示施設			
2.施設名	宮崎市生目の杜遊古館	4.利用圏域別分類	広域・市域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		C			
	品質評価の評価(偏差値)		55.5			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		46.8			
①品質評価	劣化度数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	7.900 年	65.1	25.800 年
			劣化度数(棟平均)	2.000 件	49.5	1.900 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
			クレーム点数	5.000 点	55.3	4.500 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.500 件	52.8	0.900 件
			評価値	55.5		
②供給評価	利用率の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			日あたり利用者数	178.000 人	43.1	415.000 人
			建物1㎡当たりの利用率	0.052 人	42.5	0.129 人
			建物1㎡当たりの利用率	台		台
			土地1㎡当たりの利用率	人		人
			市負担額千円当たりの利用量	0.863	43.1	1.585
			評価値	42.9		
③財務評価	市負担割合の評価が低い。 利用量当たりの市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			市負担割合	98.800 %	47.5	94.220 %
			市負担額(ソフト)前年度比	98.300 %	53.5	99.170 %
			建物1㎡当たりの市負担額	18.632 千円	57.5	23.357 千円
			土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
			利用量当たりの市負担額	1.158 千円	44.4	0.892 千円
			評価値	50.7		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			

## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	9860	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	宮崎市生目の杜遊古館	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	品質は、築年数が浅く、バリアフリー対応であることから、平均点を上回っている。供給・財務は、他の施設に比べて、利用者数が少ないうえに、施設規模に応じた維持が必要なため、平均点を下回っている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】劣化度点数(棟平均)【原因】開館後9年を経過し、定期的な大規模メンテナンス等を実施していない為、外壁のひび、剥離等、建物の劣化が進んでいる。ペンキ塗り等の簡易なメンテナンス、補修等は、職員で行っている。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】日あたりの利用者数【原因】利用が土日祝日に集中し、平日の利用者が少ないのが主な要因と考える。また、施設の形態が違う図書館等と比較しているため、評価値は低くなっている。【評価指標】建物1㎡当たりの利用量【原因】宿泊に対応した施設であるため、宿泊室、多目的室・体験工房・調理室・食堂・シャワー室など、他の施設に比べて多様なスペースが必要とされる。【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】利用量に比較しが大きく、維持管理コストも高い。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】市負担割合・利用量当たりの市負担額【原因】施設使用料は、宿泊利用のみ徴収している。宿泊利用は、宮崎市内の学校に在籍する児童、生徒により構成される団体を中心となっているため、大きな市民負担を求めることは、困難な状況にある。	
5	定性的な要素の分析(総括)	児童生徒の施設利用を念頭に置いた、歴史文化に関する創作活動や野外活動に親しむ体験学習施設であると同時に、市内在住者を対象としたスポーツ合宿所としての機能も有しており、多目的に利用されている。また、展示スペースは、国指定史跡「生目古墳群」のガイダンス機能を有している。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	生目古墳群史跡公園、生目の杜運動公園、跡江保育所、消防団車庫1	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	みやざき歴史文化館、宮崎市佐土原歴史資料館、宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館、宮崎市安井息軒記念館、みやざきアートセンター、大淀川学習館、宮崎科学技術館、宮崎市立図書館、佐土原総合文化センター(佐土原図書館)	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎県総合博物館、宮崎県立図書館、宮崎県立美術館、宮崎県埋蔵文化財センター神宮分館	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	有 災害時福祉避難所(平成24年3月1日指定) 避難所として自家発電設備がないため、災害時に予想される長期停電対策として太陽光発電を導入(平成25年度)。	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	市内中心部から国道10号西バイパスを西に向かい、浮田ランプで降り、県道9号宮崎西環状線に入って約2km北上し、県道17号線を左折して約700mの位置にある。土、日、祝日限定で路線バスが運行されているものの便数が1日3.5便と少なく、公共交通機関の利用が困難な状況となっている。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】14.9億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	宿泊利用については、学校主催の宿泊学習の利用が少ないため、平日の利用が少なく、週末に集中している。また、秋から冬にかけての宿泊利用が少ない状況にある。 平成28年度体験学習館利用者数(日帰り:22,499人、宿泊:4,104人)。埋蔵文化財センター展示室見学者、研修室利用者も増加傾向にあるが(利用者数28,128人)、団体利用がほとんどで、個人の利用者は少ない。	

## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	9860	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	宮崎市生目の杜遊古館	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「改修・更新」、機能の評価(案)は「統合・集約」とする。平成31年度までに、展示室を拡張する施設改修を行い、みやざき歴史文化館の機能を統合する。また、利用者増につながる事業展開と経費節減を目的として、施設の指定管理者導入の検討を進める。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	改修・更新	
16	建物の評価(案)の理由	研修室及び収蔵庫の一部を改修し、新たに展示室を設ける。展示工事にあわせて、エントランス、既存展示室の一部についても改修する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	計画的で適正な施設の補修を行うことにより、できるだけ建物の延命をはかっていく。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	統合・集約	
19	機能の評価(案)の理由	平成31年度までに、みやざき歴史文化館の展示部分を当館に統合し、宮崎市の歴史・文化の拠点施設として位置づける。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	当館の施設利用者は、ここ数年、増加傾向にあり(利用者数ーH24年度32,614人、H28年度54,681人)、H28年度は、過去、最高の利用者数を記録した。今後、施設利用者の増加に伴い、歳出の増加も予想される為、施設使用料の見直しや、施設の指定管理者の導入についても検討を進める。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、展示の目的や事業の内容、来場者の状況、地域性などを十分に考慮しながら、他の利用用途別分類の施設を含めて機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。また、開館期間の見直しや複数施設の包括管理などによる効率的な施設経営、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

## (2) 施設評価シート

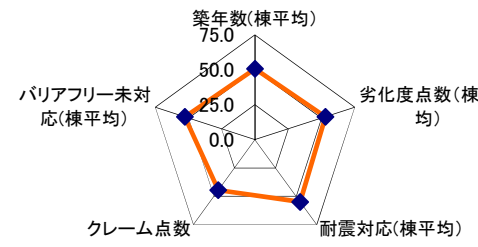
施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	9860	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	宮崎市生目の杜遊古館	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価は「改修・更新」、機能の評価は「統合・集約」とする。平成31年度までに、展示室を拡張する施設改修を行い、みやざき歴史文化館の機能を統合する。また、利用者増につながる事業展開と経費節減を目的として、施設の指定管理者導入の検討を進める。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	改修・更新	
28	建物の評価の理由	研修室及び収蔵庫の一部を改修し、新たに展示室を設ける。展示工事にあわせて、エントランス、既存展示室の一部についても改修する。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	計画的で適正な施設の補修を行うことにより、できるだけ建物の延命をはかっていく。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	統合・集約	
31	機能の評価の理由	平成31年度までに、みやざき歴史文化館の展示部分を当館に統合し、宮崎市の歴史・文化の拠点施設として位置づける。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	当館の施設利用者は、ここ数年、増加傾向にあり(利用者数-H24年度32,614人、H28年度54,681人)、H28年度は、過去、最高の利用者数を記録した。今後、施設利用者の増加に伴い、歳出の増加も予想される為、施設使用料の見直しや、施設の指定管理者の導入についても検討を進める。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、展示の目的や事業の内容、来場者の状況、地域性などを十分に考慮しながら、他の利用用途別分類の施設を含めて機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。また、開館期間の見直しや複数施設の包括管理などによる効率的な施設経営、使用料の適正化に取り組む。	



(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	9850	3.利用用途別分類	図書館・展示施設										
2.施設名	みやざき歴史文化館	4.利用圏域別分類	広域・市域										
5.所在地(町名・番地)	芳士2258-3	15.設置根拠法令											
6.バス停	蓮ヶ池(480m)	16.設置条例	宮崎市歴史資料館条例										
7.開設年月日	平成4年7月25日	17.市の計画	時期の決定した廃止の方針がある										
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(公益財団法人宮崎文化振興協会)	18. 外観											
9.指定管理期間	平成29年4月1日～平成32年3月31日		19. 内部										
10.用途地域	その他												
11.財産区分	公共用												
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	21世紀を担う子供たちに郷土の歴史、伝統文化、神話などに接する機会と場所を提供するため、市制60周年記念事業の一つとして、国指定史跡蓮ヶ池横穴群のある蓮ヶ池史跡公園内に設置した。												
13.主な利用者	市民	20.避難所の指定(標高)	- 20.20 m										
14.利用者駐車可能台数	115台	21.投票所の指定	無										
22. 土地情報	土地面積	1,322.60 m <sup>2</sup>				24. 建物情報	総延床面積	2,308.84 m <sup>2</sup>					
	現況地目	公園					取得価額計(開始時簿価計)	701258千円 (-)					
	土地所有形態	所有					階数・構造(主たる建物)	地上3階・RC・鉄筋コンクリート					
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>					建築年(主たる建物)	1991年					
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%		
	利用者数	64,786	106.8	60,641	-		市の収入計① (②+③)	73	68.9	106	-		
	開館日数	310	100.0	310	-		使用料(減免後)②	0	-	0	-		
利用率	209	106.6	196	-	その他③	73	68.9	106	-				
25. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算			
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%		
		指定管理者の収入計⑤	62,440	97.0	64,397			-	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,508	60.4	2,495	-
		指定管理料⑥	62,262	99.7	62,479			-	施設のコスト	758	43.4	1,745	-
		利用料金収入	0	-	0			-	事業のコスト	0	-	0	-
		自主事業収入	0	0.0	1,765			-	人に係るコスト	750	100.0	750	-
		その他収入	178	116.3	153			-	指定管理者の支出計⑨	59,009	98.9	59,672	-
		収入合計⑦	62,513	96.9	64,503			-	施設のコスト	29,995	97.5	30,754	-
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	-	-	-	-	自主事業以外のコスト	5,632	120.1	4,691	-				
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	251	12.4	2,024	-	自主事業のコスト	0	0.0	972	-				
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	3,431	72.6	4,725	-	人に係るコスト	23,382	100.5	23,255	-				
28.工事請負費・修繕費	-	-	-	-	支出合計⑩	60,517	97.3	62,167	-				
31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	-	-	-	-	28.工事請負費・修繕費	0	0.0	1,339	-				
31.市負担割合(%) (⑪÷⑩)	-	-	-	-	31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	63,697	98.2	64,868	-				
32.施設所管課	文化財課	33.施設主管課	文化財課										

(2)施設評価シート

1.台帳番号	9850	3.利用用途別分類	図書館・展示施設			
2.施設名	みやざき歴史文化館	4.利用圏域別分類	広域・市域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		C			
	品質評価の評価(偏差値)		51.2			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		45.1			
①品質評価	クレーム点数の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	25.000 年	50.7	25.800 年
			劣化度数(棟平均)	1.300 件	53.0	1.900 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
			クレーム点数	4.000 点	44.7	4.500 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.500 件	52.8	0.900 件
			評価値	51.2		
②供給評価	利用量率の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			日あたり利用者数	209.000 人	44.0	415.000 人
			建物1㎡当たりの利用量率	0.091 人	46.2	0.129 人
			建物1㎡当たりの利用量率	台		台
			土地1㎡当たりの利用量率	人		人
			市負担額千円当たりの利用量	1.017	44.6	1.585
			評価値	44.9		
③財務評価	市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年度の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。 利用量当たりの市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			市負担割合	105.250 %	44.0	94.220 %
			市負担額(ソフト)前年度比	100.300 %	45.5	99.170 %
			建物1㎡当たりの市負担額	27.588 千円	43.3	23.357 千円
			土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
			利用量当たりの市負担額	0.983 千円	48.1	0.892 千円
			評価値	45.2		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			
						
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)			

## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	9850	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	みやざき歴史文化館	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	品質は、外壁や収蔵庫壁面などに経年劣化が見られるが、ほぼ平均点の評価となっている。供給・財務については、前回調査時より利用者数が増加し、平均点以下ではあるが2ポイント評価は上がった。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】クレーム点数【原因】施設へのアクセスが悪い、1階トイレの場所が分かりづらいとの苦情が、年に1~2件寄せられる。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】日あたり利用者数【原因】他の施設に比べて認知度が低い。【評価指標】建物1㎡当たりの利用量率【原因】他の施設に比べて利用者数が少ないうえに、文化財の収蔵スペースが広く取られ(図書館を除く施設と比べて)、利用者スペースの割合が低くなっている。【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】利用者数が少ないうえに、特別収蔵庫や展示物等の維持管理費が必要とされるため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】市負担割合【原因】利用料金制を採っていないうえに、指定管理料に比べて、指定管理者の決算額が小さいため。【評価指標】市負担額(ソフト)前年度比【原因】子ども向けなどの企画展事業実施にあたり、事業費や需用費を増額したため。【評価指標】建築1㎡当たりの市負担額・利用量当たりの市負担額【原因】利用料金制を採っていないため、他の施設に比べて、市負担額が大きくなっている。	
5	定性的な要素の分析(総括)	当該施設は、展示施設としての集客機能のほか、資料の収集・調査・研究を行い、所蔵する文化財を適切に保存する役割を担っている。このため、学芸員を置き、研究紀要等を発行し、地域の歴史研究の拠点となっている。また、国指定史跡「蓮ヶ池横穴群」のガイダンス施設としての機能も有している。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	蓮ヶ池史跡公園、住吉南小学校、児童クラブ(住吉南小学校)、蓮ヶ池街区公園、蓮ヶ池第2街区公園	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市佐土原歴史資料館、宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館、宮崎市安井息軒記念館、宮崎市生目の杜遊古館、みやざきアートセンター、大淀川学習館、宮崎科学技術館、宮崎市立図書館、佐土原総合文化センター(佐土原図書館)	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎県総合博物館、宮崎県立図書館、宮崎県立美術館	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	国道10号線北バイパスから旧10号線に入って約500m南に位置するが、駐車場まではさらに1km迂回しなければならない。旧10号線沿いに「蓮ヶ池」バス停があり、徒歩10分で施設に行ける。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】10億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	なし	



## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	9850	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	みやざき歴史文化館	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は、「移転」とし、同じ利用用途の生目の杜遊古館への機能の「移転」方針を平成31年度までに決定。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	基礎評価の品質は平均点を上回っているが、築20年を超え、近い将来には施設の改修が必要とされる。機能を「移転」とし、行政財産として今後の機能を検討する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	同じ利用用途の生目の杜遊古館への機能の「移転」を決定し、再配置計画を作成する。再配置計画において、建物の処分と決定された場合は将来の修繕更新費用は削減できることとなる。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	移転	
19	機能の評価(案)の理由	当該施設については、同じ利用用途を目的として、市内に5施設が設置されている。利用用途別分類の他施設と比較する、年間の利用率は平均より低いが、年間6万人を超え歴史資料館としては多くの利用者がいる。施設は築25年経過しており、経年劣化による老朽化が見られ、歴史資料館としての維持管理には費用を要することから、機能面からの「移転」を行う。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	当該施設は指定管理者制度を活用し、指定管理者による管理運営を行っている。平成29年度からの新たな指定管理者による管理運営は、平成31年度までの3年間とし、その間に同じ利用用途の生目の杜遊古館への、機能を「移転」することで、管理運営経費を削減する。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、展示の目的や事業の内容、来場者の状況、地域性などを十分に考慮しながら、他の利用用途別分類の施設を含めて機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。また、開館期間の見直しや複数施設の包括管理などによる効率的な施設経営、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見あり(別紙 2ページ参照)	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	9850	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	みやざき歴史文化館	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は、「移転」とし、同じ利用用途の生目の杜遊古館への機能の「移転」方針を平成31年度までに決定。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	基礎評価の品質は平均点を上回っているが、築20年を超え、近い将来には施設の改修が必要とされる。機能を「移転」とし、行政財産として今後の機能を検討する。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	同じ利用用途の生目の杜遊古館への機能の「移転」を決定し、再配置計画を作成する。再配置計画において、建物の処分と決定された場合は将来の修繕更新費用は削減できることとなる。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	移転	
31	機能の評価の理由	当該施設については、同じ利用用途を目的として、市内に5施設が設置されている。利用用途別分類の他施設と比較する、年間の利用率は平均より低いが、年間6万人を超え歴史資料館としては多くの利用者がいる。施設は築25年経過しており、経年劣化による老朽化が見られ、歴史資料館としての維持管理には費用を要することから、機能面からの「移転」を行う。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	当該施設は指定管理者制度を活用し、指定管理者による管理運営を行っている。平成29年度からの新たな指定管理者による管理運営は、平成31年度までの3年間とし、その間に同じ利用用途の生目の杜遊古館への、機能を「移転」することで、管理運営経費を削減する。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、展示の目的や事業の内容、来場者の状況、地域性などを十分に考慮しながら、他の利用用途別分類の施設を含めて機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。また、開館期間の見直しや複数施設の包括管理などによる効率的な施設経営、使用料の適正化に取り組む。	

**施設カルテ**  
(1)施設基本情報シート

平成29年度

1.台帳番号	3010	3.利用用途別分類	図書館・展示施設				
2.施設名	みやざきアートセンター	4.利用圏域別分類	広域・市域				
5.所在地(町名・番地)	橘通西三丁目3-27	15.設置根拠法令					
6.バス停	橘通り3丁目(60m)	16.設置条例	みやざきアートセンター条例				
7.開設年月日	平成21年10月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する				
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(みやざき文化村)	18. 外観	 				
9.指定管理期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日						
10.用途地域	商業地域						
11.財産区分	公共用						
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	「文化芸術によるコミュニティの再生拠点」をコンセプトに、まちなかへの集客、合併後の新市民の交流の拠点として、また、文化芸術振興の拠点としてまちなかのにぎわいを創出するために整備した。				19. 内部	 	
13.主な利用者	企画展等の観覧者、定期講座の受講者、リースペース(遊び・憩いの場)の利用者						
14.利用者駐車可能台数	0台	20.避難所の指定(標高)	— 5.40 m				
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無				
22.土地情報	土地面積 1,557.73 m <sup>2</sup> 現況地目 宅地 土地所有形態 所有(一部借受) 借受面積 892.00 m <sup>2</sup>	24.建物情報	総延床面積 3,291.67 m <sup>2</sup> 取得価額計(開始時簿価計) 1702976千円 (—) 階数・構造(主たる建物) 地上6階・SRC・鉄骨鉄筋コンクリート 建築年(主たる建物) 2009年 法定点検(主たる建物) 対象 建物所有状況 市有物件 借受面積 0.00 m <sup>2</sup> 耐震対応(主たる建物) 対応済 未利用スペース 0 m <sup>2</sup>				
23.利用情報	(区分・単位) 平成28年度決算 平成27年度決算 人・食 前年比% 人・食 前年比%						
	利用者数 222,456 183.4 121,324 — 開館日数 359 100.8 356 — 利用率率 620 181.8 341 —						
25.収入	(区分・単位)	平成28年度決算	平成27年度決算				
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		
	市の収入計①(②+③)	138	98.6	140	—		
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		
	その他③	138	98.6	140	—		
	《参考》 使用料減免額④	1,191	86.7	1,373	—		
	指定管理者の収入計⑤	235,501	111.5	211,305	—		
	指定管理料⑥	88,391	97.1	90,998	—		
	利用料金収入	771	73.4	1,050	—		
	自主事業収入	144,869	122.4	118,351	—		
その他収入	1,470	162.3	906	—			
収入合計⑦	235,639	111.4	211,445	—			
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	100	100.0	100	—			
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	147,248	122.3	120,447	—			
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	0.0	△ 1,750	—			
26.支出	(区分・単位)	平成28年度決算	平成27年度決算				
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		
市の支出計⑧(指定管理料除く)	18,125	102.3	17,722	—			
施設のコスト	15,875	102.6	15,472	—			
事業のコスト	0	—	0	—			
人に係るコスト	2,250	100.0	2,250	—			
指定管理者の支出計⑨	235,501	110.5	213,055	—			
施設のコスト	11,547	92.9	12,428	—			
自主事業以外のコスト	18,096	142.2	12,729	—			
自主事業のコスト	148,397	112.1	132,427	—			
人に係るコスト	57,461	103.6	55,471	—			
支出合計⑩	253,626	109.9	230,777	—			
28.工事請負費・修繕費	0	—	0	—			
31.市負担	市負担額⑪(⑧-①+⑥)	106,378	98.0	108,580	—		
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	42	89.1	47	—		
32.施設所管課	文化・市民活動課	33.施設主管課	文化・市民活動課				

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3010	3.利用用途別分類	図書館・展示施設			
2.施設名	みやぎきアートセンター	4.利用圏域別分類	広域・市域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		A			
	品質評価の評価(偏差値)		54.8			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		56.3			
①品質評価	クレーム点数の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	7.000 年	65.8	25.800 年
			劣化度点数(棟平均)	1.000 件	54.5	1.900 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
			クレーム点数	4.000 点	44.7	4.500 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.300 件	54.2	0.900 件
			評価値			54.8
②供給評価		指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			日あたり利用者数	620.000 人	56.0	415.000 人
			建物1㎡当たりの利用量率	0.188 人	55.8	0.129 人
			建物1㎡当たりの利用量率	台		台
			土地1㎡当たりの利用量率	人		人
			市負担額千円当たりの利用量	2.091	54.8	1.585
			評価値			55.5
③財務評価	建物1㎡当たり市負担額の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			市負担割合	41.940 %	78.5	94.220 %
			市負担額(ソフト)前年度比	98.000 %	54.7	99.170 %
			建物1㎡当たりの市負担額	32.317 千円	35.9	23.357 千円
			土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
			利用量当たりの市負担額	0.478 千円	58.7	0.892 千円
			評価値			57.0
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)		

## (2)施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度
台帳番号	3010	利用用途別分類 図書館・展示施設
施設名	みやざきアートセンター	利用圏域別分類 広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	施設の特性等から、一部項目において平均点を下回るが、品質・供給・財務とも総合的には平均点以上となっており、良好な評価となっている。
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】クレーム点数 【原因】施設内の各階で階段の位置が異なることなどから、分かりづらいとの苦情がある。
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額 【原因】アートセンター管理組合で管理している建物であり、指定管理料と別に管理組合費の支出があるため。
5	定性的な要素の分析(総括)	図書館・展示施設としての利用用途の施設は他にもあるが、まちなかへの集客、交流拠点を併せ持った文化芸術施設は他にはない。
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	橋公園、本庁舎、第二庁舎、第三庁舎、職員専用立体駐輪場、会議室棟・書庫棟、駐車場警備員控室、宮崎市消防団中央分団第2部消防団車庫、上野町駐車場、一番街第一自転車駐車場、宮崎市橋通東3丁目駐車場(Y・Y PARK)、別府街区公園(公園)、別府街区公園(トイレ)、宮崎市消防団中央分団第3部消防団車庫、千草街区公園、宮崎市自動車排出ガス測定局 高千穂通測定局、宮崎市栄町児童館、栄町街区公園のほか20施設
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	大淀川学習館、宮崎科学技術館、宮崎市立図書館、みやざき歴史文化館、宮崎市生目の杜遊古館、宮崎市きよたけ歴史館、宮崎市佐土原歴史資料館、宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館、佐土原総合文化センター(佐土原図書館)
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎県立博物館、宮崎県立美術館、宮崎県立図書館、宮日会館
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	国道220号線沿いにあり、施設前にバス停留所があるなど交通事情は良好である。
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】14.6億円程度
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	本施設は、まちなかへの集客、交流拠点として、また、文化芸術振興の拠点として賑わいを創出することを目的としている。このような目的で設置された施設は他にはなく、特筆すべき施設といえる。当施設の事業は、着実に中心市街地の集客を高め、経済的波及効果をもたらしていると評価されているが、国民文化祭の開催等を控えている中、中心市街地関係者の期待は益々高まっている。



## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	3010	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	みやざきアートセンター	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能評価(案)は「継続」。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	基礎評価では、品質の評価、供給評価・財務評価の評価とも偏差値50より高い。市民等のニーズが多く、築年数が7年で当面市が所有すべき施設であるため「継続」とする。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し施設の状態把握に努め、適切な時期に、適切な工事を行うことにより、将来の修繕更新費用の削減につなげる。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	基礎評価では、品質の評価、供給評価・財務評価ともに平均点以上である。当館は、利用料金制を採用しており、単なる貸館施設ではなく、指定管理者が自ら魅力ある主催事業等を企画立案し、収益をださなければならない。魅力的で集客が見込まれる企画展の開催には一定の資金が必要である。指定管理料の減額は、事業規模縮小、ひいては中心市街地の衰退に繋がりがかねず、安定的かつ継続的な事業展開には、現在の指定管理料は維持すべきである。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	事業実施にあたり公費を投入すべき範囲、開館時間、利用料金設定(減免規定を含む。)について、施設に求められる役割や市民の意向を十分に考慮しながら検討し、市負担額の削減に向けて取り組む。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、展示の目的や事業の内容、来場者の状況、地域性などを十分に考慮しながら、他の利用用途別分類の施設を含めて機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。また、開館期間の見直しや複数施設の包括管理などによる効率的な施設経営、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	3010	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	みやざきアートセンター	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能評価は「継続」。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	基礎評価では、品質の評価、供給評価・財務評価の評価とも偏差値50より高い。市民等のニーズが多く、築年数が7年であり当面市が所有すべき施設であるため「継続」とする。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し施設の状態把握に努め、適切な時期に、適切な工事を行うことにより、将来の修繕更新費用の削減につなげる。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	基礎評価では、品質の評価、供給評価・財務評価ともに平均点以上である。当館は、利用料金制を採用しており、単なる貸館施設ではなく、指定管理者が自ら魅力ある主催事業等を企画立案し、収益をださなければならない。魅力的で集客が見込まれる企画展の開催には一定の資金が必要である。指定管理料の減額は、事業規模縮小、ひいては中心市街地の衰退に繋がりがかねず、安定的かつ継続的な事業展開には、現在の指定管理料は維持すべきである。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	事業実施にあたり公費を投入すべき範囲、開館時間、利用料金設定(減免規定を含む。)について、施設に求められる役割や市民の意向を十分に考慮しながら検討し、市負担額の削減に向けて取り組む。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、展示の目的や事業の内容、来場者の状況、地域性などを十分に考慮しながら、他の利用用途別分類の施設を含めて機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。また、開館期間の見直しや複数施設の包括管理などによる効率的な施設経営、使用料の適正化に取り組む。	

**施設カルテ**  
(1)施設基本情報シート

平成29年度

1.台帳番号	90030	3.利用用途別分類	図書館・展示施設		
2.施設名	佐土原総合文化センター(佐土原図書館)	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.所在地(町名・番地)	佐土原町下田島20527-4	15.設置根拠法令	図書館法		
6.バス停	札の辻(80m)	16.設置条例	佐土原総合文化センター条例		
7.開設年月日	平成16年10月8日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	商業地域		19. 内部		
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	「佐土原町総合文化施設基本構想」に基づき、平成16年に旧佐土原町が開館した。佐土原図書館は、文化ホール機能と公立公民館機能を併せもった佐土原交流プラザとともに、佐土原総合文化センターを構成しており、市北部地域の生涯学習及び芸術文化の拠点施設となっている。平成25年度に市立図書館等と図書システムを統一した。				
13.主な利用者	市民	20.避難所の指定(標高)	— 30.30 m		
14.利用者駐車可能台数	79台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	29,561.00 m <sup>2</sup>			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	220,596	93.3	236,525	—
	開館日数	302	99.7	303	—
	利用率率	730	93.5	781	—
24. 建物情報	総延床面積	1,951.19 m <sup>2</sup>			
	取得価額計(開始時簿価計)	— (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・SRC・鉄筋鉄骨コンクリート			
	建築年(主たる建物)	2004年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m <sup>2</sup>			
	25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		39	111.4	35	—
使用料(減免後)②		0	—	0	—
その他③		39	111.4	35	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		0	—	0	—
指定管理料⑥		0	—	0	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入		0	—	0	—
収入合計⑦		39	111.4	35	—
26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	52,069	98.1	53,101	—
	施設のコスト	5,654	94.0	6,015	—
	事業のコスト	14,215	95.5	14,886	—
	人に係るコスト	32,200	100.0	32,200	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	52,069	98.1	53,101	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	
28.工事請負費・修繕費	187	35.3	530	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	39	111.4	35	—	
30. 指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	52,030	98.0	53,066	—
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—
32.施設所管課	生涯学習課	33.施設主管課	生涯学習課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	90030	3.利用用途別分類	図書館・展示施設				
2.施設名	佐土原総合文化センター(佐土原図書館)	4.利用圏域別分類	広域・市域				
5.基礎評価							
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		A				
	品質評価の評価(偏差値)		55.4				
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		60.7				
①品質評価	クレーム点数の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		築年数(棟平均)	12.000	年	61.6	25.800	年
		劣化度数(棟平均)	0.000	件	59.5	1.900	件
		耐震対応(棟平均)	5.000	点	54.9	4.700	点
		クレーム点数	4.000	点	44.7	4.500	点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000	件	56.3	0.900	件
			評価値			55.4	
②供給評価		指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		日あたり利用者数	730.000	人	59.3	415.000	人
		建物1㎡当たりの利用量率	0.374	人	73.9	0.129	人
		建物1㎡当たりの利用量率		台			台
		土地1㎡当たりの利用量率		人			人
		市負担額千円当たりの利用量	4.240		75.3	1.585	
			評価値			69.5	
③財務評価	市負担割合の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		市負担割合	99.930	%	46.9	94.220	%
		市負担額(ソフト)前年度比	98.700	%	51.9	99.170	%
		建物1㎡当たりの市負担額	26.666	千円	44.8	23.357	千円
		土地1㎡当たりの市負担額		千円			千円
		利用量当たりの市負担額	0.236	千円	63.7	0.892	千円
			評価値			51.8	
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図				

## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度	
台帳番号	90030	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	佐土原総合文化センター(佐土原図書館)	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	品質・供給・財務評価が高い。図書館法により入館料等の徴収を行うことができないため、財務評価の一部が低評価となっている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】クレーム点数【原因】年に数回クレームがある程度である。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額 【原因】図書館法により入館料等の徴収ができないこととなっているので歳入が見込めない。	
5	定性的な要素の分析(総括)	類似施設としては、市内に宮崎市立図書館と宮崎県立図書館が存在する。ただし、宮崎市北部には本図書館のみで類似施設はなく、北部の文化施設として市民の方々に情報発信を行う拠点としての役割を果たしている。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	佐土原総合文化センター、佐土原交流プラザ、佐土原総合支所、佐土原地区地域包括支援センター、佐土原体育館、松小路地区学習等供用施設、久谷地区学習等供用施設、広瀬北小学校、広瀬北小学校児童クラブ、久峰中学校、梅野地区学習等供用施設、広瀬中央保育園、宮崎市旭町児童館、旭町・広瀬台地区学習等供用施設、広瀬中学校、広瀬小学校の他11施設	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	みやざきアートセンター、大淀川学習館、宮崎科学技術館、宮崎市立図書館、みやざき歴史文化館、宮崎市生目の杜遊古館、宮崎市安井息軒記念館、宮崎市佐土原歴史資料館、宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎県立図書館、宮崎県立美術館、宮崎県立博物館	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	北バイパスから国道10号線を北進した位置にある。施設付近に佐土原駅やバス停留所(広瀬台)もあり、交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】8.7億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	佐土原図書館は運営業務も含め直営であるが、宮崎市立図書館はMCLボランティアに運営業務を委託している。	



## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	90030	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	佐土原総合文化センター(佐土原図書館)	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)、機能の評価(案)ともに「継続」とする。当施設の長寿命化と更新費用縮減のため、計画的な維持管理計画を検討し、現行どおり図書サービスを継続する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	建設から13年しか経過しておらず、著しい劣化も見られない。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	老朽化が進行する各施設において、各施設単独の計画的な修繕更新の実施だけでは削減は困難であり、当総合評価(現施設の統合・集約等を含む)に基づく所管施設の整理等において、総額削減を図る。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	基礎評価から公共性・必要性(市民ニーズ)の高い施設であることがうかがえるので、現状のまま継続経営に取り組む。また、今年度、宮崎市立図書館・佐土原図書館等の図書システムの更新を図ることで安定した図書サービスを提供することが可能となった。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	宮崎市立図書館との図書システムの再構築により、維持管理経費を削減した。引き続き適切な施設の管理・運営により維持経費の削減に努める。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、展示の目的や事業の内容、来場者の状況、地域性などを十分に考慮しながら、他の利用用途別分類の施設を含めて機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。また、開館期間の見直しや複数施設の包括管理などによる効率的な施設経営、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	90030	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	佐土原総合文化センター(佐土原図書館)	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価、機能の評価ともに「継続」とする。当施設の長寿命化と更新費用縮減のため、計画的な維持管理計画を検討し、現行どおり図書サービスを継続する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	建設から13年しか経過しておらず、著しい劣化も見られない。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	老朽化が進行する各施設において、各施設単独の計画的な修繕更新の実施だけでは削減は困難であり、当総合評価(現施設の統合・集約等を含む)に基づく所管施設の整理等において、総額削減を図る。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	基礎評価から公共性・必要性(市民ニーズ)の高い施設であることがうかがえるので、現状のまま継続経営に取り組む。また、今年度、宮崎市立図書館・佐土原図書館等の図書システムの更新を図ることで安定した図書サービスを提供することが可能となった。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	宮崎市立図書館との図書システムの再構築により、維持管理経費を削減した。引き続き適切な施設の管理・運営により維持経費の削減に努める。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、展示の目的や事業の内容、来場者の状況、地域性などを十分に考慮しながら、他の利用用途別分類の施設を含めて機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。また、開館期間の見直しや複数施設の包括管理などによる効率的な施設経営、使用料の適正化に取り組む。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	8830	3.利用用途別分類	図書館・展示施設								
2.施設名	宮崎市立図書館	4.利用圏域別分類	広域・市域								
5.所在地(町名・番地)	花山手東三丁目25-3	15.設置根拠法令	図書館法								
6.バス停	福祉文化公園(160m)	16.設置条例	宮崎市福祉文化公園条例								
7.開設年月日	平成6年5月21日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観									
9.指定管理期間											
10.用途地域	第一種住居地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	市制70周年を記念し、福祉・文化・アメニティをテーマとした福祉文化公園の中に、総合福祉保健センター・市民文化ホールと一体となった施設として平成6年に開館した。公立公民館図書室等や公立小中学校とのネットワークの構築など、利便性の高い機能を備えた、誰もが、身近に利用できる施設となっている。開館から18年が経過していることから、長期的な視野にたち、施設全体の計画的な改修を行っていく必要がある。		19. 内部								
13.主な利用者	市民	20.避難所の指定(標高)	— 18.10 m								
14.利用者駐車可能台数	370台	21.投票所の指定	無								
22. 土地情報	土地面積	11,781.73 m <sup>2</sup>				24. 建物情報	総延床面積	6,409.32 m <sup>2</sup>			
	現況地目	宅地					取得価額計(開始時簿価計)	2185351千円 (—)			
	土地所有形態	所有					階数・構造(主たる建物)	地上3階・RC・鉄筋コンクリート			
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>					建築年(主たる建物)	1994年			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	利用者数	335,665	98.9	339,515	—		市の収入計①(②+③)	75	94.9	79	—
	開館日数	300	100.0	300	—		使用料(減免後)②	0	0.0	1	—
利用率	1,119	98.9	1,132	—	その他③	75	96.2	78	—		
					≪参考≫ 使用料減免額④	0	—	0	—		
					指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		
					指定管理料⑥	0	—	0	—		
					利用料金収入	0	—	0	—		
					自主事業収入	0	—	0	—		
					その他収入	0	—	0	—		
					収入合計⑦	75	94.9	79	—		
					26. 支出						
					(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算			
					千円	前年度比%	千円	前年度比%			
					市の支出計⑧(指定管理料除く)	183,033	96.0	190,573	—		
					施設のコスト	58,975	103.6	56,915	—		
					事業のコスト	112,758	92.2	122,358	—		
					人に係るコスト	11,300	100.0	11,300	—		
					指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—		
					施設のコスト	0	—	0	—		
					自主事業以外のコスト	0	—	0	—		
					自主事業のコスト	0	—	0	—		
					人に係るコスト	0	—	0	—		
					支出合計⑩	183,033	96.0	190,573	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	0	—	28.工事請負費・修繕費	1,720	76.8	2,239	—		
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	75	94.9	79	—	31. 市負担	182,958	96.0	190,494	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	182,958	96.0	190,494	—		
					市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—		
32.施設所管課	生涯学習課		33.施設主管課	生涯学習課							

(2)施設評価シート

1.台帳番号	8830	3.利用用途別分類	図書館・展示施設			
2.施設名	宮崎市立図書館	4.利用圏域別分類	広域・市域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		B			
	品質評価の評価(偏差値)		48.7			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		55.6			
① 品質評価	劣化度数(棟平均)の評価がかなり低い。 クレーム点数の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	22.000 年	53.2	25.800 年
			劣化度数(棟平均)	5.000 件	34.5	1.900 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
			クレーム点数	4.000 点	44.7	4.500 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	56.3	0.900 件
			評価値	48.7		
② 供給評価		指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			日あたり利用者数	1,119.000 人	70.7	415.000 人
			建物1㎡当たりの利用量率	0.175 人	54.4	0.129 人
			建物1㎡当たりの利用量率	台		台
			土地1㎡当たりの利用量率	人		人
			市負担額千円当たりの利用量	1.835	52.4	1.585
			評価値	59.2		
③ 財務評価	市負担割合の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			市負担割合	99.960 %	46.9	94.220 %
			市負担額(ソフト)前年度比	96.300 %	61.4	99.170 %
			建物1㎡当たりの市負担額	28.546 千円	41.8	23.357 千円
			土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
			利用量当たりの市負担額	0.545 千円	57.3	0.892 千円
			評価値	51.9		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			

## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度	
台帳番号	8830	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	宮崎市立図書館	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	品質評価が低く、供給・財務評価が高い。当施設は、平成6年に建築され23年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。また、図書館法により入館料等の徴収を行うことができない、以上のことが評価の要因と考えられる。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】劣化度数(棟平均)・クレーム点数 【原因】外壁のひび割れ、雨漏り(平成29年7月の建物点検時に確認。今後、担当部署より結果報告書がある予定。)	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額 【原因】図書館法により入館料等の徴収ができないこととなっているので歳入が見込めない。	
5	定性的な要素の分析(総括)	市立図書館が中軸となって公立公民館等・公立小中学校及び福祉施設との図書館ネットワークを構築している。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	りんどうヶ丘街区公園、天神山公園、りんどうヶ丘2号街区公園、北川内運動場、宝塚2号街区公園、大坪池公園、宝塚3号緑地広場、大坪団地、笹原街区公園、宮崎市総合福祉保健センター、江南小学校、宮崎市民文化ホール、江南小学校給食室、(旧)宮崎市健康相談センター、児童クラブ(江南小学校)、宮崎市大淀公民館、大坪1号街区公園、宮崎市大淀地域事務所のほか6公園	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	みやざきアートセンター、大淀川学習館、宮崎科学技術館、みやざき歴史文化館、宮崎市生目の杜遊古館、宮崎市安井息記念館、宮崎市佐土原歴史館、宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館、佐土原総合文化センター(佐土原図書館)	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎県立図書館、宮崎県立美術館、宮崎県立博物館	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	施設前にはバス停留所(福祉文化公園)が設置されている。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】27.1億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	宮崎市立図書館は、運営業務をNPO法人MCLボランティアに委託しているが、宮崎県立図書館及び佐土原図書館は運営業務を含め直営である。	



## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	8830	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	宮崎市立図書館	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)、機能の評価(案)ともに「継続」とする。当施設の長寿命化と更新費用縮減のため、計画的な維持管理計画を検討し、現行どおり図書サービスを継続する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	建設から23年が経過し、特に屋上外壁等、建物全体の老朽化が顕著。文化施設としての継続的な運営への期待に応えるために、計画的に修繕・改修を実施する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	老朽化が進行する各施設において、各施設単独の計画的な修繕更新の実施だけでは削減は困難であり、当総合評価(現施設の統合・集約等を含む)に基づく所管施設の整理等において、総額削減を図る。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	基礎評価から公共性・必要性(市民ニーズ)の高い施設であることがうかがえるので、現状のまま継続経営に取り組む。また、宮崎市立図書館・佐土原図書館等の図書システムの更新を図ることで安定した図書サービスを提供することが可能となった。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	業務委託内容を検討し、引き続き適切な施設の管理・運営により維持経費の削減に努める。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、展示の目的や事業の内容、来場者の状況、地域性などを十分に考慮しながら、他の利用用途別分類の施設を含めて機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。また、開館期間の見直しや複数施設の包括管理などによる効率的な施設経営、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

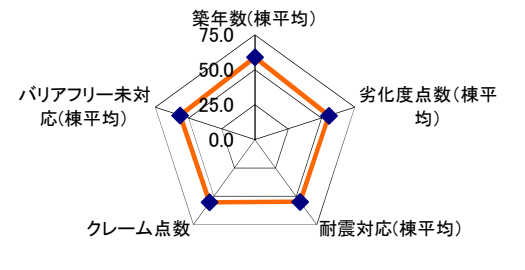
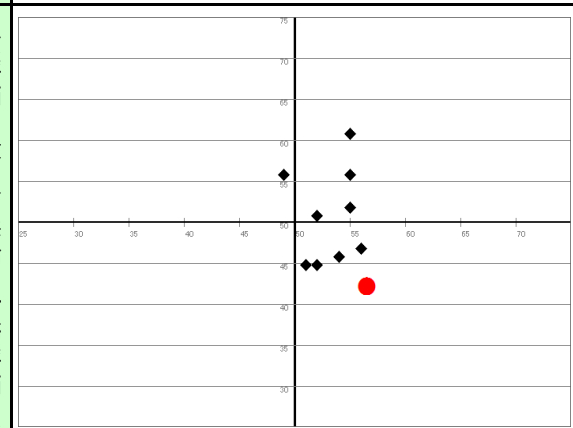
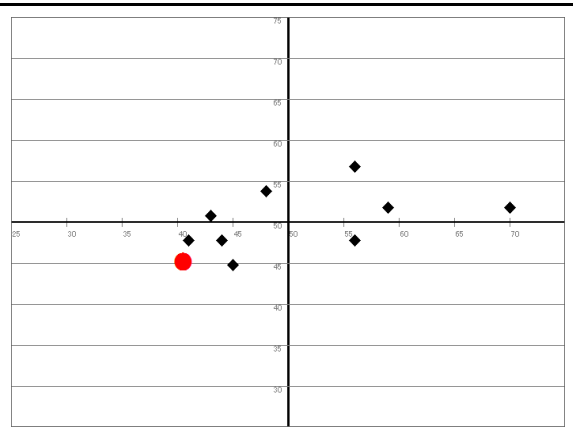
## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	8830	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	宮崎市立図書館	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価、機能の評価ともに「継続」とする。当施設の長寿命化と更新費用縮減のため、計画的な維持管理計画を検討し、現行どおり図書サービスを継続する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	建設から23年が経過し、特に屋上外壁等、建物全体の老朽化が顕著。文化施設としての継続的な運営への期待に応えるために、計画的に修繕・改修を実施する。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	老朽化が進行する各施設において、各施設単独の計画的な修繕更新の実施だけでは削減は困難であり、当総合評価(現施設の統合・集約等を含む)に基づく所管施設の整理等において、総額削減を図る。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	基礎評価から公共性・必要性(市民ニーズ)の高い施設であることがうかがえるので、現状のまま継続経営に取り組む。また、宮崎市立図書館・佐土原図書館等の図書システムの更新を図ることで安定した図書サービスを提供することが可能となった。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	業務委託内容を検討し、引き続き適切な施設の管理・運営により維持経費の削減に努める。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、展示の目的や事業の内容、来場者の状況、地域性などを十分に考慮しながら、他の利用用途別分類の施設を含めて機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。また、開館期間の見直しや複数施設の包括管理などによる効率的な施設経営、使用料の適正化に取り組む。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	9880	3.利用用途別分類	図書館・展示施設													
2.施設名	安井息軒記念館	4.利用圏域別分類	広域・市域													
5.所在地(町名・番地)	清武町加納甲3378-1	15.設置根拠法令														
6.バス停	学園短大・国際大前(360m)	16.設置条例	宮崎市歴史資料館条例													
7.開設年月日	平成13年10月31日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する													
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(特定非営利活動法人安井息軒顕彰会)	18. 外観														
9.指定管理期間	平成29年4月1日～平成32年3月31日															
10.用途地域	第二種中高層住居専用地域															
11.財産区分	公共用															
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	国史跡安井息軒旧宅に隣接し、1階が埋蔵文化財センター、2階が歴史資料館となっており、別棟に茶室「香梅庵」を併設している。歴史資料館では、藩政時代の清武郷城の歴史および文化財に関する資料、安井息軒に関する資料を保管・展示している。						19. 内部									
13.主な利用者	市民	20.避難所の指定(標高)	—		13.80 m											
14.利用者駐車可能台数	10台	21.投票所の指定	無													
22. 土地情報	土地面積	1,850.60 m <sup>2</sup>				24. 建物情報						総延床面積	1,182.94 m <sup>2</sup>			
	現況地目	宅地										取得価額計(開始時簿価計)	282350千円 (—)			
	土地所有形態	所有					階数・構造(主たる建物)	地上2階・RC・鉄筋コンクリート								
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>					建築年(主たる建物)	2001年								
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		法定点検(主たる建物)	対象									
		人・食	前年比%	人・食	前年比%		建物所有状況	市有物件								
	利用者数	9,320	88.2	10,566	—		借受面積	0.00 m <sup>2</sup>								
	開館日数	304	99.7	305	—		耐震対応(主たる建物)	対応済								
利用率	31	88.6	35	—	未利用スペース	0 m <sup>2</sup>										
25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算						
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%					
	市の収入計① (②+③)	58	69.9	83	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	17,209	108.2	15,906	—					
	使用料(減免後)②	57	69.5	82	—		施設のコスト	5,142	134.3	3,830	—					
	その他③	1	100.0	1	—		事業のコスト	717	98.8	726	—					
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	11,350	100.0	11,350	—					
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—					
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—					
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—					
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—					
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—							
収入合計⑦	58	69.9	83	—	支出合計⑩	17,209	108.2	15,906	—							
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	—	0	—	28.工事請負費・修繕費	1,440	426.0	338	—							
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	58	69.9	83	—	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	17,151	108.4	15,823	—							
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.2	99	—							
32.施設所管課	文化財課				33.施設主管課	文化財課										

(2)施設評価シート

1.台帳番号	9880	3.利用用途別分類	図書館・展示施設		
2.施設名	安井息軒記念館	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		C		
	品質評価の評価(偏差値)		56.2		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		42.6		
①品質評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	15.100 年	59.0	25.800 年
		劣化度点数(棟平均)	0.800 件	55.5	1.900 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
		クレーム点数	5.000 点	55.3	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	56.3	0.900 件
		評価値	56.2		
②供給評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	31.000 人	38.7	415.000 人
		建物1㎡当たりの利用率	0.026 人	39.9	0.129 人
		建物1㎡当たりの利用率	台		台
		土地1㎡当たりの利用率	人		人
		市負担額千円当たりの利用率	0.543	40.1	1.585
		評価値	39.6		
③財務評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
		市負担割合	99.660 %	47.0	94.220 %
		市負担額(ソフト)前年度比	101.500 %	40.7	99.170 %
		建物1㎡当たりの市負担額	14.499 千円	64.0	23.357 千円
		土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
		利用率当たりの市負担額	1.840 千円	30.1	0.892 千円
		評価値	45.5		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図		
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)	

## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	9880	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	安井息軒記念館	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	品質評価については、施設が新しいため平均以上の評価となっているが、施設の形態が違う図書館等と比較しているため、年間利用者数が少なくなっている。相対的に供給評価・財政評価が平均以下となっている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】日あたり利用者数 【原因】施設の形態が違う図書館等と比較しているため、評価値は低くなる。②【評価指標】建物1㎡当たりの利用率 【原因】日あたり利用者数が少ないため平均以下となっている。③【評価指標】市負担額千円当たりの利用量 【原因】利用者数が少ないため平均を大きく下回っている。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】市負担額(ソフト) 【原因】入館無料ながら企画展開催等の経費面での前年度比増となったため。②【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額 【原因】他施設と比較すると床面積が小さいため、わずかであるが平均以上となっている。③【評価指標】利用量当たりの市負担額 【原因】利用者数が少ないため、利用量あたりの市負担額が平均よりかなり上回った。	
5	定性的な要素の分析(総括)	市全体に同じ利用用途の施設が点在している。但し、国指定史跡「安井息軒旧宅」に近接し、そのガイダンス施設の機能を有し、「安井息軒」個人を特化した資料館であり、他には類がない。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	南加納1号街区公園、共同利用施設 上加納センター、加納小学校、宮崎市かのう児童館、正手1号街区公園、正手2号街区公園、正手3号街区公園、正手4号街区公園、西新町公民館、適応指導教室(希望教室)、新川街区公園、宮崎市清武総合支所、交流プラザきよたけ 四季の夢、宮崎市清武地域子育て支援センター、宮崎市清武保健センター、宮崎市きよたけ児童文化センター、宮崎市清武体育館、清武町文化会館 外2施設	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	みやざき歴史文化館、宮崎市佐土原歴史資料館、宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館、宮崎市生目の杜遊古館、宮崎アートセンター、宮崎科学技術館、大淀川学習館、宮崎市立図書館、佐土原総合文化センター(佐土原図書館)	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎県総合博物館、宮崎県立美術館、宮崎県立図書館	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	最寄バス停は、県道宮崎北郷線「宮崎国際大学」で市道を西に約400m、徒歩で約5分。国道269号線のバス停「加納小入口」からは約900mで、かなりの上り坂となり、徒歩で約10分。JR清武駅からは、約1.8km。タクシーで5分。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】2.7億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	包括外部監査での指摘は特にない。 近接する国指定史跡「安井息軒旧宅」のガイダンス施設を兼ね、郷土の偉人「安井息軒」に特化した資料館として、平成14年に旧清武町が建設したもの。安井息軒に関わる資料を展示・収蔵している施設は類がない。	



## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	9880	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	安井息軒記念館	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、建物は将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。「質の向上」の取り組みとして、利用者増につながる事業展開と経費節減を目的として、展示室H29年度から指定管理者制度を導入した。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	基礎評価の品質は平均点を上回っている。当面は現在の建物を維持できるものとする。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	H29から指定管理者制度を実施。指定管理者とのリスク分担において、施設管理者での初期段階での修繕と長寿命化に取り組み、修繕更新費用の削減を図る。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	指定管理者による柔軟な事業の展開により利用者数の増加が期待できるとともに、地域の歴史を学ぶ施設としての機能の継続は必要と考える。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	指定管理者制度を活用し、指定管理者による管理運営を行っている。受益者負担の徹底により、指定管理料の有効的な配分に努めるよう、連携に取り組む。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、展示の目的や事業の内容、来場者の状況、地域性などを十分に考慮しながら、他の利用用途別分類の施設を含めて機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。また、開館期間の見直しや複数施設の包括管理などによる効率的な施設経営、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	9880	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	安井息軒記念館	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、建物は将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。「質の向上」の取り組みとして、利用者増につながる事業展開と経費節減を目的として、展示室H29年度から指定管理者制度を導入した。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	基礎評価の品質は平均点を上回っている。当面は現在の建物を維持できるものとする。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	H29から指定管理者制度を実施。指定管理者とのリスク分担において、施設管理者での初期段階での修繕と長寿命化に取り組み、修繕更新費用の削減を図る。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	指定管理者による柔軟な事業の展開により利用者数の増加が期待できるとともに、地域の歴史を学ぶ施設としての機能の継続は必要とする。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	指定管理者制度を活用し、指定管理者による管理運営を行っている。受益者負担の徹底により、指定管理料の有効的な配分に努めるよう、連携に取り組む。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、展示の目的や事業の内容、来場者の状況、地域性などを十分に考慮しながら、他の利用用途別分類の施設を含めて機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。また、開館期間の見直しや複数施設の包括管理などによる効率的な施設経営、使用料の適正化に取り組む。	

**施設カルテ**  
(1)施設基本情報シート

平成29年度

1.台帳番号	9890	3.利用用途別分類	図書館・展示施設		
2.施設名	宮崎市佐土原歴史資料館	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.所在地(町名・番地)	佐土原町上田島8202-1	15.設置根拠法令			
6.バス停		16.設置条例	宮崎市歴史資料館条例		
7.開設年月日	平成5年6月1日	17.市の計画	平成29年度4月1日から開館日縮小(土日、祝日および特定季節のみ開館)		
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(公益財団法人宮崎文化振興協会)	18. 外観			
9.指定管理期間	平成29年4月1日～平成32年3月31日				
10.用途地域	その他				
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	佐土原地区の歴史および文化財に関する資料を保管・展示するため、旧佐土原町が国指定史跡佐土原城跡内に設置した。施設は、鶴松館、出土文化財管理センター、商家資料館(旧坂本家)で構成している。	19. 内部			
13.主な利用者	市民				
14.利用者駐車可能台数	60台				
20.避難所の指定(標高)	—				13.80 m
21.投票所の指定	無				
22. 土地情報	土地面積	6,631.50 m <sup>2</sup>			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	20,943	83.0	25,229	—
	開館日数	305	100.3	304	—
	利用率率	69	83.1	83	—
24. 建物情報	総延床面積	1,578.66 m <sup>2</sup>			
	取得価額計(開始時簿価計)	519478千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1994年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m <sup>2</sup>			
	25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		471	120.8	390	—
使用料(減免後)②		0	—	0	—
その他③		471	120.8	390	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		29,649	98.3	30,173	—
指定管理料⑥		29,555	98.2	30,099	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入	94	127.0	74	—	
収入合計⑦	30,120	98.6	30,563	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—				
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	565	121.8	464	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	1,404	73.5	1,911	—	
26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,852	28.4	6,517	—
	施設のコスト	1,102	19.1	5,767	—
	事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	750	100.0	750	—	
指定管理者の支出計⑨	28,245	99.9	28,262	—	
施設のコスト	10,729	94.7	11,331	—	
自主事業以外のコスト	1,622	128.7	1,260	—	
自主事業のコスト	0	—	0	—	
人に係るコスト	15,894	101.4	15,671	—	
支出合計⑩	30,097	86.5	34,779	—	
28.工事請負費・修繕費	1,102	19.1	5,767	—	
31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	30,936	85.4	36,226	—	
市負担割合(%) (⑪÷⑩)	103	98.7	104	—	
32.施設所管課	文化財課	33.施設主管課	文化財課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	9890	3.利用用途別分類	図書館・展示施設																												
2.施設名	宮崎市佐土原歴史資料館	4.利用圏域別分類	広域・市域																												
5.基礎評価																															
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		C																												
	品質評価の評価(偏差値)		51.8																												
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		44.7																												
①品質評価	バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成28年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>21.800 年</td> <td>53.4</td> <td>25.800 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度点数(棟平均)</td> <td>0.200 件</td> <td>58.5</td> <td>1.900 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>5.000 点</td> <td>54.9</td> <td>4.700 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>55.3</td> <td>4.500 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>2.800 件</td> <td>36.8</td> <td>0.900 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>51.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	21.800 年	53.4	25.800 年	劣化度点数(棟平均)	0.200 件	58.5	1.900 件	耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	クレーム点数	5.000 点	55.3	4.500 点	バリアフリー未対応(棟平均)	2.800 件	36.8	0.900 件	評価値		51.8	
		評価指標	平成28年度	偏差値	平均																										
		築年数(棟平均)	21.800 年	53.4	25.800 年																										
		劣化度点数(棟平均)	0.200 件	58.5	1.900 件																										
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点																										
		クレーム点数	5.000 点	55.3	4.500 点																										
バリアフリー未対応(棟平均)	2.800 件	36.8	0.900 件																												
評価値		51.8																													
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成28年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>69.000 人</td> <td>39.8</td> <td>415.000 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td>0.044 人</td> <td>41.6</td> <td>0.129 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>0.677</td> <td>41.3</td> <td>1.585</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>40.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	69.000 人	39.8	415.000 人	建物1㎡当たりの利用量率	0.044 人	41.6	0.129 人	建物1㎡当たりの利用量				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	0.677	41.3	1.585	評価値		40.9			
評価指標	平成28年度	偏差値	平均																												
日あたり利用者数	69.000 人	39.8	415.000 人																												
建物1㎡当たりの利用量率	0.044 人	41.6	0.129 人																												
建物1㎡当たりの利用量																															
土地1㎡当たりの利用量率																															
市負担額千円当たりの利用量	0.677	41.3	1.585																												
評価値		40.9																													
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成28年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>102.790 %</td> <td>45.3</td> <td>94.220 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>97.900 %</td> <td>55.1</td> <td>99.170 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>19.596 千円</td> <td>55.9</td> <td>23.357 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>1.477 千円</td> <td>37.7</td> <td>0.892 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>48.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	市負担割合	102.790 %	45.3	94.220 %	市負担額(ソフト)前年度比	97.900 %	55.1	99.170 %	建物1㎡当たりの市負担額	19.596 千円	55.9	23.357 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	1.477 千円	37.7	0.892 千円	評価値		48.5			
評価指標	平成28年度	偏差値	平均																												
市負担割合	102.790 %	45.3	94.220 %																												
市負担額(ソフト)前年度比	97.900 %	55.1	99.170 %																												
建物1㎡当たりの市負担額	19.596 千円	55.9	23.357 千円																												
土地1㎡当たりの市負担額																															
利用量当たりの市負担額	1.477 千円	37.7	0.892 千円																												
評価値		48.5																													
品質評価の分布図																															
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																															

## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度
台帳番号	9890	利用用途別分類 図書館・展示施設
施設名	宮崎市佐土原歴史資料館	利用圏域別分類 広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	品質は、「鶴松館」「商家資料館」がバリアフリー未対応となっている点を除けば、平均点以上の評価となっている。供給・財務については、他の施設に比べて利用者数が少ないうえに、市負担額が大きく、平均点以下の評価となっている。
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】バリアフリー未対応(棟平均)【原因】宮崎市指定有形文化財の「商家資料館」については、文化財であるためバリアフリーへの改修は不可能である。
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】日あたり利用者数【原因】施設の形態が違う図書館等と比較しているため、評価値は低くなる。【評価指標】建物1㎡当たりの利用率【原因】他の施設に比べて利用者数が少ないうえに、文化財の収納スペースが広く取られ(図書館を除く施設と比べて)、利用者スペースの割合が低くなっている。【評価指標】市負担額千円当たりの利用率【原因】施設が分散しているため、他の施設に比べて人件費等の管理コストが割高となっている。
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】市負担割合【原因】利用料金制を採っていないうえに、指定管理料に比べて、指定管理者の決算額が小さいため。【評価指標】利用率当たりの市負担額【原因】利用料金制を採っていないため、他の施設に比べて、市負担額が大きくなっている。
5	定性的な要素の分析(総括)	当該施設は、展示施設としての集客機能のほか、資料の収集・調査・研究を行い、所蔵する文化財を適切に保存する役割を担っている。このため、学芸員を置き、佐土原に関連した歴史や人物をテーマとする企画展も多く手がけ、研究紀要等を発行するなど、地域の歴史研究の拠点となっている。また、国指定史跡「佐土原城跡」のガイダンス施設としての機能も有している。
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	佐土原地区交流センター、城の駅、佐土原中学校、佐土原小学校、城址公園、佐土原西体育館、佐土原西運動広場、追手地区コミュニティセンター、佐土原地区公民館、学習等共用施設3(西春田・西十・西野久尾)、団地4(宝塔山・今坂・追手・新町)、宝塔山公園、堤地区営農研修施設、消防団車庫3
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	みやざき歴史文化館、宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館、宮崎市きよたけ歴史館、宮崎市生目の杜遊古館、みやざきアートセンター、大淀川学習館、宮崎科学技術館、宮崎市立図書館、佐土原総合文化センター(佐土原図書館)
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎県総合博物館、宮崎県立図書館、宮崎県立美術館
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	国道10号線北バイパスから国道219号線に入って約10km北上した道路脇に位置する。「佐土原小前」バス停から徒歩5分で施設に行ける。
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】7億円程度
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	「鶴松館」「出土文化財管理センター」は、国史跡佐土原城跡の指定地内にあり、文化財保護法、及び『史跡佐土原城跡保存管理計画書』(平成19年3月)による現状変更の規制により、建て替えや大規模改修ができないこととなっている。



## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	9890	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	宮崎市佐土原歴史資料館	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」とし、将来の修繕更新費用を削減するために指定管理者とのリスク分担により計画的な保全に取り組む。機能評価(案)は「継続」とし、平成29年度から土日・休日および特定季節のみの開館日縮小を行った。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	基礎評価の品質は平均点以上であるが、築20年を超え、建物の経年劣化が見られるが、部分改修や防水工事等の実施を行うことで、当面は現在の建物を維持することができるものとする。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	再配置計画において、建物の処分と決定された場合は将来の修繕更新費用は削減できることとなる。継続と決定された場合は長寿命化に取り組み、修繕更新費用の削減を図る。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	H29から土日・休日及び特定季節のみの開館日縮小を行ったことにより、経費を削減できた。また、地域の歴史を学ぶ施設としての機能の継続は必要と考える。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	当該施設は指定管理者制度を活用し、指定管理者による管理運営を行っている。受益者負担の徹底により、指定管理料の有効的な配分に努めるよう、連携に取り組む。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、展示の目的や事業の内容、来場者の状況、地域性などを十分に考慮しながら、他の利用用途別分類の施設を含めて機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。また、開館期間の見直しや複数施設の包括管理などによる効率的な施設経営、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	9890	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	宮崎市佐土原歴史資料館	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」とし、将来の修繕更新費用を削減するために指定管理者とのリスク分担により計画的な保全に取り組む。機能評価は「継続」とし、平成29年度から土日・休日および特定季節のみの開館日縮小を行った。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	基礎評価の品質は平均点以上であるが、築20年を超え、建物の経年劣化が見られるが、部分改修や防水工事等の実施を行うことで、当面は現在の建物を維持することができるものとする。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	再配置計画において、建物の処分と決定された場合は将来の修繕更新費用は削減できることとなる。継続と決定された場合は長寿命化に取り組み、修繕更新費用の削減を図る。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	H29から土日・休日及び特定季節のみの開館日縮小を行ったことにより、経費を削減できた。また、地域の歴史を学ぶ施設としての機能の継続は必要と考える。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	当該施設は指定管理者制度を活用し、指定管理者による管理運営を行っている。受益者負担の徹底により、指定管理料の有効的な配分に努めるよう、連携に取り組む。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、展示の目的や事業の内容、来場者の状況、地域性などを十分に考慮しながら、他の利用用途別分類の施設を含めて機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。また、開館期間の見直しや複数施設の包括管理などによる効率的な施設経営、使用料の適正化に取り組む。	

**施設カルテ**  
(1)施設基本情報シート

平成29年度

1.台帳番号		9920		3.利用用途別分類		図書館・展示施設					
2.施設名		宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館		4.利用圏域別分類		広域・市域					
5.所在地(町名・番地)		高岡町内山3003-56		15.設置根拠法令							
6.バス停		高岡小入口(780m)		16.設置条例		宮崎市歴史資料館条例					
7.開設年月日		平成5年11月5日		17.市の計画		平成29年度から開館日縮小(土日、祝日、特定季節のみ開館)					
8.施設運営形態(指定管理者)		指定管理者(公益財団法人宮崎文化振興協会)		18. 外観							
9.指定管理期間		平成29年4月1日～平成32年3月31日									
10.用途地域		その他			19. 内部						
11.財産区分		公共用									
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)		高岡地区の歴史および文化財に関する資料を保管・展示するため、旧高岡町が市指定史跡天ヶ城跡にある天ヶ城公園内に設置した。同公園は、春は桜の名所として知られており、開花に合わせて、本施設の利用者も増加している。平成24年度には、年度末に開花が早まったため、例年より利用者が増加した。									
13.主な利用者		市民		20.避難所の指定(標高)		— 123.60 m					
14.利用者駐車可能台数		7台		21.投票所の指定		無					
22. 土地情報	土地面積	337.00 m <sup>2</sup>				24. 建物情報		総延床面積	1,432.28 m <sup>2</sup>		
	現況地目	宅地						取得価額計(開始時簿価計)	876000千円 (—)		
	土地所有形態	所有						階数・構造(主たる建物)	地上4階・RC・鉄筋コンクリート		
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>						建築年(主たる建物)	1993年		
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		法定点検(主たる建物)	対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	23,565	108.0	21,821	—	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>				
	開館日数	306	98.7	310	—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
利用率	77	110.0	70	—	未利用スペース	0 m <sup>2</sup>					
25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)	41	87.2	47	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	750	100.0	750	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	その他③	41	87.2	47	—		事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	16,898	104.8	16,121	—		指定管理者の支出計⑨	16,136	106.2	15,187	—
	指定管理料⑥	16,842	104.7	16,082	—		施設のコスト	7,244	104.9	6,906	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	1,407	158.1	890	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	56	143.6	39	—	人に係るコスト	7,485	101.3	7,391	—		
収入合計⑦	16,939	104.8	16,168	—	支出合計⑩	16,886	106.0	15,937	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		28.工事請負費・修繕費		0		—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	97	112.8	86	—	31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	17,551	104.6	16,785	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	762	81.6	934	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	104	98.7	105	—		
32.施設所管課		文化財課		33.施設主管課		文化財課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	9920	3.利用用途別分類	図書館・展示施設			
2.施設名	宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館	4.利用圏域別分類	広域・市域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		C			
	品質評価の評価(偏差値)		53.7			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		46.0			
①品質評価	劣化度数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	23.000 年	52.4	25.800 年
			劣化度数(棟平均)	2.000 件	49.5	1.900 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
			クレーム点数	5.000 点	55.3	4.500 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	56.3	0.900 件
			評価値	53.7		
②供給評価	利用率の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			日あたり利用者数	77.000 人	40.1	415.000 人
			建物1㎡当たりの利用率	0.054 人	42.6	0.129 人
			建物1㎡当たりの利用量	台		台
			土地1㎡当たりの利用率	人		人
			市負担額千円当たりの利用量	1.343	47.7	1.585
			評価値	43.5		
③財務評価	市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年比の評価がきわめて低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			市負担割合	103.940 %	44.7	94.220 %
			市負担額(ソフト)前年比	104.600 %	28.3	99.170 %
			建物1㎡当たりの市負担額	12.254 千円	67.5	23.357 千円
			土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
			利用量当たりの市負担額	0.745 千円	53.1	0.892 千円
			評価値	48.4		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			

## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度
台帳番号	9920	利用用途別分類 図書館・展示施設
施設名	宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館	利用圏域別分類 広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	品質は、経年劣化は見られるが、平均点以上の評価となっている。供給及び財務については、施設の形態が違う図書館等と比較しているため利用者数が少なくなっている。建物1㎡当たりの利用量が平均点を下回っている。
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】日あたり利用者数【原因】施設の形態が違う図書館等と比較しているため、評価値は低くなる。【評価指標】建物1㎡当たりの利用率【原因】他の施設に比べて利用者数が少ないうえに、文化財の収蔵スペースが広く取られ(図書館を除く施設と比べて)、利用者スペースの割合が低くなっている。【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】他の施設に比べて利用者数が少ないため。
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】市負担割合【原因】利用料金制を採っていないうえに、指定管理料に比べて、指定管理者の決算額が小さいため。【評価指標】市負担額(ソフト)前年度比【原因】受益者負担がなじまない事業を多く実施したため。【評価指標】利用量当たりの市負担額【原因】利用料金制を採っていないため、他の施設と比べて市負担額が大きくなっている。
5	定性的な要素の分析(総括)	展示施設としての集客機能のほか、資料の収集・調査・研究を行い、所蔵する文化財を適切に保存する義務が課せられている。このため、学芸員を置き、高岡に関連した歴史や人物をテーマとする企画展を多く手がけ、高岡に関する歴史資料を多数所蔵し、研究紀要等を発行するなど、地域の歴史研究の拠点となっている。
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	高岡総合支所、農村環境改善センター、保健福祉センター穆園館、高岡中学校、高岡小学校、高岡給食センター、天ヶ城体育館、武道館、練士館、天ヶ城公園、中央ふれあい広場、団地3(柳・芝手・寺田)、旧町有住宅3、旧林業センター、龍福寺墓園、飯田2号街区公園、消防団車庫1
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	みやざき歴史文化館、宮崎市佐土原歴史資料館、宮崎市きよたけ歴史館、宮崎市生目の杜遊古館、みやざきアートセンター、大淀川学習館、宮崎科学技術館、宮崎市立図書館、佐土原総合文化センター(佐土原図書館)
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎県総合博物館、宮崎県立図書館、宮崎県立美術館
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	国道10号線高岡バイパスから天ヶ城公園への道路に入って約2kmの位置にあり、天ヶ城公園の一角に建つ。「高岡小入口」バス停から徒歩25分で施設に行けるが、坂道となっているため、自家用車以外では交通の便は悪い。
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】6.4億円程度
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	なし



## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	9920	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、建物は将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。「質の向上」の取り組みとして、平成29年度から3年間の指定管理料の削減を行うとともに、土日・休日及び特定期間のみの開館縮小を行った。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	基礎評価の品質は平均点を上回っている。当面は現在の建物を維持できるものとする。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	指定管理者とのリスク分担により計画的な保全に取組み、早期の対処により施設の延命化に勤めるとともに修繕更新費用の削減に努める。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	H29から土日・休日及び特定季節のみの開館日縮小を行ったことにより、利用者数は低下が見込まれるが、地域の歴史を学ぶ施設としての機能の継続は必要と考える。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	当該施設は指定管理者制度を活用し、指定管理者による管理運営を行っている。受益者負担の徹底により、指定管理料の有効的な配分に努めるよう、連携に取り組む。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、展示の目的や事業の内容、来場者の状況、地域性などを十分に考慮しながら、他の利用用途別分類の施設を含めて機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。また、開館期間の見直しや複数施設の包括管理などによる効率的な施設経営、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

## (2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	9920	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、建物は将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。「質の向上」の取り組みとして、平成29年度から3年間の指定管理料の削減を行うとともに、土日・休日及び特定期間のみの開館縮小を行った。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	基礎評価の品質は平均点を上回っている。当面は現在の建物を維持できるものとする。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	指定管理者とのリスク分担により計画的な保全に取組み、早期の対処により施設の延命化に勤めるとともに修繕更新費用の削減に努める。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	H29から土日・休日及び特定季節のみの開館日縮小を行ったことにより、利用者数は低下が見込まれるが、地域の歴史を学ぶ施設としての機能の継続は必要と考える。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	当該施設は指定管理者制度を活用し、指定管理者による管理運営を行っている。受益者負担の徹底により、指定管理料の有効的な配分に努めるよう、連携に取り組む。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	新たな施設は建設せず、展示の目的や事業の内容、来場者の状況、地域性などを十分に考慮しながら、他の利用用途別分類の施設を含めて機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。また、開館期間の見直しや複数施設の包括管理などによる効率的な施設経営、使用料の適正化に取り組む。	